人文科学研究科 国際文化専攻 カリキュラムツリー

1年次　　2年次

国際文化基礎論（研究／調査法）

国際文化基礎論（発表／論文作成）

日本文化分野

研究

日本文化研究（歴史）A	日本文化研究（歴史）B
日本文化研究（文学）A	日本文化研究（文学）B
日本文化研究（言語）A	日本文化研究（言語）B

演習

日本文化演習 I	日本文化演習III
日本文化演習 II	日本文化演習IV

特別講義

日本文化特別講義（社会と文化）	日本文化特別講義（文学と社会）
日本文化特別講義（文化交流）	日本文化特別講義（言語と文化）

比較文化分野

研究

比較文化研究(比較文化）A	比較文化研究(比較文化）B
比較文化研究(比較文学）A	比較文化研究(比較文学）B
比較文化研究(英語文学）A	比較文化研究(英語文学）B
比較文化研究(比較考古学）A	比較文化研究(比較考古学）B
比較文化研究(比較民族文化論）A	比較文化研究(比較民族文化論）B

演習

比較文化演習 I	比較文化演習III
比較文化演習 II	比較文化演習IV

特別講義

比較文化特別講義（日中比較）	比較文化特別講義（日欧比較）
比較文化特別講義（日韓比較）	比較文化特別講義（日米比較）
Images of Japan：Literature and Film	Variable Topics in Culture and Society in Japan
Selected Topics in Japanese Manga and Animation	

共通科目

英文資料講読	日本語コミュニケーション（上級文章作成法）
国際文化特別講義	日本語コミュニケーション（作品講読）
英語コミュニケーション（論文作成法）	インターンシップ
英語コミュニケーション（作品講読）	グローバル実地研修

修士論文

DP1

日本文化、比較文化のいずれかの専攻分野において，体系的知識を習得し活用することができる。

DP2

人文科学諸分野の研究方法を理解し、文化学、 歴史学 、 文学 、 言語学 、 考古学 、文化人類学のいずれかを軸に、学際的視野と高度な研究方法によって、自ら設定した課題について探究することが できる 。

DP3

国際的かつ学際的視野をもって各々の文化を捉え 、現代社会におけるあり 方 を考察するとともに、グローバル社会における自らの役割を自覚し、実社会との関わりを踏まえて専門的な知を追究することが できる 。

DP4

専門とする分野の必要に応じて、日本語あるいは英語によって、専門的な内容を話し、聞き、書き、読むことができるとともに 、社会の様々な場面において、異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。